

会 議 録

件 名	第 1 回宇治市特別職報酬等審議会
日 時	令和 6 年9月 12 日（木） 9：30～11：30
場 所	本庁舎 7 階第2 応接室
出席者	各委員・事務局職員
【概要】 1 市長からの諮問 2 議事 (1) 審議の公開・非公開について (2) 令和 6 年度審議予定について (3) 資料説明について 【内容】 1 市長からの諮問 諮問書別添 市長挨拶（抜粋） わが国の景気は、8月の月例経済報告では、「景気は緩やかに回復している。」とされ、先行きについても「雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される」が、「海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている」とともに「物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある」とされている。宇治市においても、物価等の影響により、市民生活や市内経済に深刻な状況が続いており、これを踏まえて、市民や事業者を支援するため、今年度においても、水道料金の減免、物価高騰対策給付金などの生活者支援に加え、事業者支援としても、先端設備等導入支援の拡充や、農業生産性向上等に資する資機材の導入支援を新たに行うなどの施策を展開しているところである。今後の市政運営について、新型コロナウイルスの5類移行から1年と数か月が経ち、観光産業が活気を取り戻す中で、引き続き市民生活や市内経済の状況把握に努め、関係機関と連携を図りながら、万全の対策に努めるとともに、これまでから課題となっている人口減少及び少子高齢社会への対応などにも迅速に取り組んでいく必要がある。こうした中、特別職の責任の度合いは、一段と高まってきているものと認識している。 今年度の審議においても、忌憚のないご意見、ご検討を賜りますようお願いしたい。 2 議事 (1) 審議の公開・非公開について (委員)「宇治市審議会等の会議の公開に関する指針」の第3(2)を 主な理由に、審議は非公開とし、終了後、議事録を公開するのが望ましい。 委員の意見を踏まえ、審議は非公開とし、議事録（発言者の氏名非公開）及び資料を答申後に公開することに決定した。 (2) 令和 6 年度審議予定について (事務局説明) 全体で3回程度の審議を行い、12月下旬に答申をいただく予定である。 (3) 資料説明 事務局より、①令和 5 年度の主な取組と令和 6 年度予算の概要、②令和 5 年度宇治市普通会計決算概要、③京都府内・類似団体の特別職等の報酬の状況等について、資料集をもとに説明を行う。	

- (委員) 資料3内で令和5年度の主な取組として、物価高騰への対応策に約33億円と記載されているが、その内訳は。令和6年度当初予算では、約18.4億円と下がっているが、何が下がったのか。
- (事務局) 国からの緊急対策費の減少によるものと思われるが、詳細は次回お示しする。
- (委員) 議員の報酬について。宇治市は高い水準にあるのか。
- (事務局) 京都府下だと高いが、全国規模の類似団体でみると、平均的なところである。
- (委員) 資料内で子育て・子育て環境の充実とあり、様々な施策があるようだが、周知については市政だより以外でも実施しているのか。
- (事務局) 子育て施策については、子育て施策専門の雑誌を作り、未就学児のいる世帯へ全戸配布している。また、妊産婦の方についても、妊娠がわかったら市役所に来られるため、その際に説明を実施している。
- (委員) 中宇治地域の新たな公共施設は、いつ頃完成する予定か。
- (事務局) まだ構想段階で、設計もできていない状態のため、具体的な日程は未定。ワークショップ等で市民の意見聴取を行い、コンセプトを固めている途中であり、今後、議論を重ねる中で具体的な案が固まってくれば、日程も見えてくる。
- (委員) 令和6年度予算の概要の資料内で、各施策全体の予算額の内訳が一部しか掲載されていないのはなぜか。
- (事務局) 今回の資料は、もとの資料から特に重要な部分のみをピックアップしたもので、すべては掲載できていない。次回お示しする。
- (委員) 財務諸表上は非常に健全なように記載されているが、投資的経費が意図的に抑えられているように思う。公共事業や施設整備等、もっと本来使うべき箇所があるのではないか。特に、今年の能登半島地震でも断水の問題があったが、宇治市の水道管の耐震化はどのくらい進められているのか。他の市町村に比べると、インフラ等への投資比率が低いように感じる。本来の意味での将来の負担、というのが考えられているのか。
- (事務局) 水道の施設については、以前より積極的に耐震化を進めており、浄水場等は70～80%ほど進んでいる一方、配水管についてはまだ30%ほどしか進んでいない。今の状態では大きな被害が予想されるが、本体部分については耐震化が進んでいるため、応急的な給水車での配水対応は可能である状態。あわせて、インフラの投資については、アセットマネジメントに基づき、老朽化が進んでいる建物に対して、積極的に対応を進めている。具体的な取り組み内容については、次回資料でお示しする。
- (委員) 施策で、災害に強いまちづくりとあるが、備蓄の状況や避難場所の詳細についてもっと周知できれば、より市民に安心感を与えることができるのではないか。また、次世代に残していくインフラに対しては、公債を発行してでも、整備していくべきだと感じる。
- (委員) 財源に限りがあるなかで、特別職が宇治市をどういったまちにしていきたいかが重要だと考える。事業や施策について、今はまだ実施できないが、今後実施していく、いったん先送りしているようなものはあるか。あれば、そこにもっと透明性を持たせれば、市民は納得できると思う。
- (事務局) 確認し次回お示しする。
- (委員) 子育て・子育て関係の施策については、非常に予算規模も大きいと感じる。出生数が減っているなかで、人口増に向けて、産業も大切だがこういった施策もしっかり実施を続けていただきたい。
- (委員) 熊本地震の際、いざ防災倉庫を開けてみたら何もなかった、ということがあったと聞く。災害対策として、町内や学校等の防災倉庫に、実際何がどの程度備蓄されているのか定期的に確認し、地域にも周知しておくべき。
- (事務局) 備蓄備品の一覧はデータで管理している。詳細は次回お示しする。各町内会では防災活動を行った際、補助金を申請して備品を購入されているところもある。
- (委員) 災害が起こった際の避難所開設は誰が行うのか。
- (事務局) 学校の用務員等が鍵を開けるが、市職員も各学校で配置が決まっている。正確なルールも含めて次回お示しする。

(審議終了)